

### 第35回： 酸性雨問題の現状と水環境への影響

開催日： 1999年3月8日～9日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 地球規模の環境問題の一つとして、酸性雨による生態系への影響があります。わが国においては、土壌による緩衝能が高いことから、水環境への影響はすぐには起こり得ないとさえきたため、必ずしも関心が高いとは言えません。しかし、酸性雨の影響によると思われる pH の低い陸水が、わが国においても観測されはじめてきています。このため、本セミナーでは、酸性雨問題の現状と、水環境への影響に関してわかりやすく解説することとしました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 酸性雨の現状と課題（村野健太郎／国環研・地球環境研G）
- 酸性物質の発生源からの輸送現象（鵜野伊津志／九大・応用力学研）
- 酸性雨の陸水影響予測モデル（宮永洋一／電中研・我孫子研）
- 酸性雨の水環境への影響モニタリング（福崎紀夫／酸性雨研セ・生態影響研究部）
- 酸性物質の流域への負荷（井川学／神奈川大・工）
- 土壌における酸性物質の緩衝機構（新藤純子／農水省農環技研）
- 水環境中におけるアルミニウムの形態（角田欣一／群馬大・工）
- 水環境の酸性化に伴う陸水魚類生態系への影響（金子豊二／東大・海洋研）